

ニューズレター雪氷北信越

No.38 平成6年7月13日
(社)日本雪氷学会北信越支部発行

目次

平成6年度支部総会・研究発表会・製品発表検討会報告/学習会・研究発表会の報告/平成6年度第2回理事・幹事合同会議報告/見学会・講演会の案内/訪中国/機関誌/新刊ニュース/その他

報告

第7回総会および研究発表会・製品発表検討会報告

期日：平成6年5月27日（金），場所：長岡技術科学大学A講義室
参加者：88名（うち総会出席者45名）

総会では平成5年度事業・決算が報告され承認された。このあと梅村支部長の任期満了にともなう、新支部長（早川理事）・副支部長（高瀬理事・高見理事）の就任が承認された。また幹事長（遠藤八十一理事）、庶務幹事（納口幹事）、会計幹事（陸幹事）、編集幹事（小林俊市幹事）が早川支部長から委嘱された。平成6年度事業計画案・予算案が示され承認された。総会後、第2回支部賞授賞式が行われ、大関義男氏・新潟県中山間地農業技術センター気象観測チームが大沼賞、阿部勉氏が雪氷功労賞をそれぞれ受賞した。

研究発表会では18件、製品発表検討会では4件の発表があり、活発な議論が交わされた。

学習会

富山地区学習会の報告

富山地区では富山大学で6月2日18時～20時に「あられ、雪粒付き雪結晶など固体降水について」と題した学習会を開きました。講師の播磨屋敏生先生は雪粒付き結晶、あられ研究の第一人者であり、先生のあいまいさを排除し、徹底して真理を追求していく姿勢と豊富なデータに深い感銘を受けました。出張先で元旦にも仕事をし、巨大雪粒の付着した雪結晶を見つけた話では、聴衆一同、研究への熱情をかりたてられる思いでした。参加者は13名でした。（対馬理事 記）

研究発表会

福井雪害対策研究会研究発表会報告

下記の通り開催されましたので報告します。

期日：平成6年6月23日（木）15:00-17:00

場所：福井市松本3丁目・福井県職員会館

参加者：18名

主催：福井雪害対策研究会

後援：(社)日本雪氷学会北信越支部

内容：

1. 湿った雪塊の融解様式と融解時間 ----- 福井大学 伊藤文雄
2. 歩道上の雪と歩行者空間の確保について
福井県雪害対策技術センター 杉森正義
3. 雪国の生活環境に関する調査 - 福井工業大学 辻岡珠美・前田博司
4. 森林内外の積雪動向 ----- 福井県総合グリーンセンター 松田正宏

当初からの予定通り実施したのですが、開催の形式が講演会から研究発表会に変わったことをよろしくご了承下さい。（杉森理事 記）

役員

平成6年度(社)日本雪氷学会北信越支部三役・理事名簿
(平成6年7月7日現在)

支 部 長	早 川 典 生	長岡技術科学大学建設系教授
副 支 部 長	高 瀬 信 忠 高 見 晋 一	金 沢 大 学 工 学 部 教 授 農 林 水 産 省 北 陸 農 業 試 驗 場 気 象 資 源 研 究 室 長
幹 事 長	遠 藤 八 十 一	農 林 水 産 省 森 林 総 合 研 究 所 十 日 町 試 驗 地 主 任 研 究 官

[illegible]

監事 山 實 新潟産業大学教授
湯本 喜久雄 ソーラーシステム（株）社長

報告

平成6年度第2回理事・幹事合同会議報告

設 度 7 2 が さ が 出 第	平 系 の 5 回 審 ま れ 決 す 3	成 会 早 支 万 発 議 た た ま 回 審 ま れ 決 す 3	6 議 川 部 円 行 さ 。 つ 雪	年 室 新 交 の 等 れ 雪 田 た と 工	7 に 支 付 増 の 承 氷 村 旨 が 学	月 お 部 金 が 支 認 学 幹 の 決 国	7 い 長 1 報 部 さ 会 事 報 ま 際	日 の 告 活 れ 金 が 告 っ シ	木 本 探 凍 れ の 。 大 日 あ り 。 ポ	) 年 の 結 た 。 修	1 度 あ 解 。 正	5 第 と 除 こ	時 2 回 違 に に び	4 理 藤 と と 本	分 事 幹 も も 年	よ ・ 事 な な 度	り 幹 長 う い の	長 合 ら 初 部	岡 同 1 予 雪 活	技 会 9 算 水 動	術 議 9 の 北 の	料 が 2 収 信 役	学 開 、 入 越 割	大 催 9 の 分	学 さ 3 約 の 担	建 れ 年 案	告 等 支 る	報 程 を い る	か ・ 程 れ た 。	長 一 円 さ れ	員 バ 万 定 さ	委 ン 1 予 告	行 め て に 報	実 の 年 が	同 回 と 6 報	瀬 中 代 9 情	高 訪 物 9 の	が 流 贈 り の	況 交 の ら い	状 術 へ か つ	抄 学 国 事 に	進 水 中 理 ム	の 雪 ・ 村 ウ	会 中 り 梅 ジ	大 日 あ り 。 ポ	日 の 告 活 れ 金 が 告 っ シ	7 い 長 1 報 部 さ 会 事 報 ま 際	月 お 部 金 が 支 認 学 幹 の 決 国	7 に 支 付 増 の 承 氷 村 旨 が 学	年 室 新 交 の 等 れ 雪 田 た と 工	6 議 川 部 円 行 さ 。 つ 雪	成 会 早 支 万 発 議 た た ま 回 審 ま れ 決 す 3	平 系 の 5 回 審 ま れ 決 す 3	設 度 7 2 が さ が 出 第
---	---	---	--	--	--	--	--	--	---	---------------------------------	----------------------------	-----------------------	---------------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	-----------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	-----------------------	----------------------------	------------------	------------------	-----------------------	----------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------------	--	--	--	--	--	--	---	---	---

ビジュアル模擬雪崩シンポジウムのお知らせ

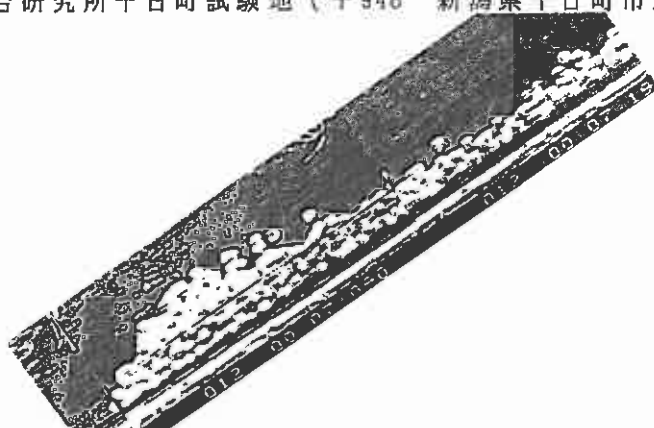
ピンポン球なだれ見学会と、模擬雪崩研究に関する講演会とを合わせて、ビジュアル模擬雪崩シンポジウムを下記のとおり開催します。昨年の見学会で行った3千個のピンポン球なだれをさらに10倍スケールアップした世界最大のピンポン球なだれ実験を行う予定です。ぜひこの機会に3万個のピンポン球を一気に頭から浴びてみませんか？参加希望の方は下記窓口までがき、FAX、または電話でご連絡下さい。

記

○見学会

日時：1994年9月7日（水）13時から14時まで

場所：森林総合研究所十日町試験地（〒948 新潟県十日町市辰乙614）



○講演会

日時：1994年9月7日（水）15時から17時まで

場所：クロス10 3F レセプションホール（〒948 十日町市本町6丁目）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 司会 | 遠藤 八十一（森林総合研究所十日町） |
| 1. 本物の雪崩のモデル実験 | 上石 勲（（株）アルゴス） |
| 2. 密度流による粉雪雪崩の模擬実験 | 福嶋 祐介（長岡技術科学大学） |
| 3. おが屑を用いた雪泥流の模擬実験 | 口中 廣美（関西電力株式会社） |
| 4. 軽い粒子を用いた雪崩の模擬実験 | 納口 恭明（長岡雪氷研） |

主催：（社）日本雪氷学会北信越支部

（社）日本雪氷学会雪崩分科会

協力：森林総合研究所十日町試験地
防災科学技術研究所長岡雪氷防災実験研究所

窓口：遠藤 八十一 森林総合研究所十日町試験地
〒948 新潟県十日町市辰乙614
TEL 0257-52-2360 FAX 0257-52-2360

納口 恭明 長岡雪氷防災実験研究所
〒940 新潟県長岡市栖吉町前山187-16
TEL 0258-35-7522 FAX 0258-35-0020

★参加無料、悪天候の場合は見学会を中止し、講演会においてビデオで実験の様相を紹介いたします。また見学会の現場は足元が悪いので軍手及び長靴・運動靴等を御用意下さい。なお、シンポジウム終了後、懇親会（会費3千円程度）を予定しております。参加希望の方は、本シンポジウム参加申し込みの際にお知らせ下さい。

訪中団

『日中雪氷学術交流訪中団』

の参加者及び日程が下記のように決まりました。

記

1. 目的：雪氷学に関する学術交流
2. 目的地：中国科学院蘭州氷河凍土研究所、同天山氷河観測所
3. 旅行期間：1994年8月20日（土）～8月29日（月）
4. 参加者：団長 梅村晃由前支部長
 団員 支部会員6名、同伴者1名
 総員 8名
5. 日程：

8/20（土）	成田14:55----	中国民航CA926----	18:15	北京（泊）
21（日）	北京11:40-----	空路WH2144-----	14:10	蘭州（泊）
22（月）	研究所見学、学術講演会			蘭州（泊）
23（火）	学術交流懇談会			蘭州（泊）
24（水）	蘭州10:40-----	空路X09606-----	22:20	ウルムチ（泊）
25（木）	カハギ--天山氷河観測所、天山氷河見学--			ウルムチ（泊）
26（金）	天山北の砂漠周辺の見学			ウルムチ（泊）
27（土）	ウルムチ8:45-----	空路X09105-----	12:10	北京（泊）
28（日）	日程調整日（北京市内）			北京（泊）
29（月）	北京8:25-----	中国民航CA925----	13:50	成田

* 中国側受入れ担当者

中国科学院国際合作局 邱華盛 氏
 中国科学院蘭州氷河凍土研究所 王良璋 教授

（社）日本雪氷学会北信越支部訪中団団長 梅村 晃由
 秘書 田村 盛彰

話題

夏の雪まつり（新潟県内）

- | | |
|-------------------------------|---------|
| 湯之谷村：ふれあい夏の雪まつり | 7/30：31 |
| 十日町市：第14回十日町市克雪・利雪フェア | 7/30・31 |
| 津南町：津南まつり | 7/30・31 |
| 小千谷市：池ヶ原スノーフェスティバル | 7/30 |
| 小千谷市：市政施行40周年、克雪都市宣言15周年克雪フェア | 8/27 |
| 松之山町：真夏の雪まつり | 8/13 |

（小林幹事 記）

案 内

中谷宇吉郎 雪の科学館 プレ・イベントのお知らせ

11月1日の開館を前に、中谷宇吉郎博士の人物像や雪氷科学の面白さを紹介するプレ・イベントが開催されます。奮ってご参加下さい。

日 時：平成6年7月24日（日）11時～15時10分

場 所：石川県加賀市市民会館

参加費：無料

主 催：加賀市教育委員会

参加申込先：雪の科学館開設準備室

TEL 07617-5-3323

* なお、詳細については、別添資料をご覧ください。

案 内

雪国交流シンポジウム「プロタシス21・in あらい」のご案内

期 日：平成6年8月5日（金）～6日（土）

場 所：新潟県新井市・新井総合文化ホール

参加費：シンポジウムは無料（交流会参加費 3,000円）

主 催：新井市・国土庁・新潟県・全国特別豪雪地帯市町村協議会・
新井商工会議所

日 程：

8/5（金） 13:00 雪国交流シンポジウム開会
13:15 記念講演 『日本海21』 講師 小松左京（作家）
14:30 パネルディスカッション
第一分科会 『雪とリゾートと交流』
第二分科会 『雪と高齢化社会』
16:15 アトラクション
17:00 分科会報告
17:30 閉会
17:45 交流パーティー（アカデミーハウス）

8/6（土） 9:00 新井市の雪対策施設視察

11:00 解散

申し込み締切り：平成6年7月20日（水）

申し込み先：プロタシス21・in あらい実行委員会事務局

新井市役所 建設課 雪総合対策係内

TEL 0255-72-5119 FAX 0255-73-8206

機関誌

『雪氷北信越13号』発行のお知らせと

自由投稿文・広告の募集

北信越支部編集委員会では、年末に『雪氷北信越13号』の発行を予定しております。つきましては、下記の通り、随筆・評論的な自由投稿文を募集致しますので、奮って御投稿下さい。また、同誌に掲載する広告を募集致します。『雪氷北信越6号』最終頁を御参照の上、御連絡下さい。

1. 字 数：3000字程度（用紙は自由）

2. 問合先：〒940 新潟県長岡市栖吉町前山187-16

長岡雪氷防災実験研究所 小林俊市（TEL.0258-35-7522）

『基礎雪氷学講座Ⅵ 雪氷水文現象』 前野紀一・福田正己編

1986年の第1巻の刊行以来8年ぶりに2回目の刊行がなされた。
本書は、「雪氷水文現象」、「融雪と積雪層の熱収支」、「融雪量と融雪出水」、「海水の生成、構造、物理的性質」及び「海水の分布と運動」の5つの章から構成されている。

(古今書院 5,665円)

『異常気象レポート'94』 気象庁編
(近年における世界の異常気象と気候変動-その実態と見通し-(Ⅴ))

A4判に拡大されたことにより、文字の大きさも大きくなり、大変読みやすくなった。

本書は、「本論」、「各論」、「補遺」、「付録」により構成されており、「各論」はさらに、「第Ⅰ部 異常気象と気候変動の実態」、「第Ⅱ部 気候変動と気候系」、「第Ⅲ部 気候変動と地球環境問題」、「第Ⅳ部 気候変動の予測可能性」及び「第Ⅴ部 気候変動問題に対する内外の取り組みと今後の課題」に分かれる。

(大蔵省印刷局 3,000円)

お知らせ

新潟県からのお願い

「雪の写真」を探しています

* 県内、県外の小学4年生に配布する「雪の読本」に使う写真を貸して下さる方を探しています。

- ・ 38豪雪、56豪雪など大雪の年の写真
- ・ 雪崩など雪害の写真
- ・ 冠雪、雪マクリなど珍しい雪の現象の写真
- ・ 昔ながらの雪国の暮らしの写真
- ・ 子供たちの雪遊びの写真・・・など
- ・ 白黒・カラー、プリント・スライド、サイズなど一切問いません。
- ・ 写真使用の際は提供者のお名前を付記いたします。
- ・ 写真は後日返却いたします。

* 9月末日までに下記へ御連絡下さい。

〒950 新潟市新光町4-1

新潟県庁 地域政策課 雪対策室

TEL 025-285-5511(代)

その他

『ニューズレター雪氷北信越』について

ニューズレターに関するお問い合わせは
長岡雪氷防災実験研究所 小林俊市

TEL.0258-35-7522

FAX.0258-35-0020

までお願いします。